Ｒ７年度年度佐賀・長崎支部総会報告

佐賀・長崎支部　支部長　江口　隆郎

８月１７日（日）午前１０：３０より、アパホテル佐賀駅南１階グリルタケシタにて、学生・保護者総勢１６名にご参加していただき佐賀・長崎支部総会を開催しました。

本部役員の江頭和昭熊本支部長、派遣教員として中原広道薬学科長、後援会事務局にもご参加いただきました。

はじめに、佐賀・長崎支部総会が開会され、支部長江口、小柳、牟田両副支部長挨拶の後、会計報告があり承認されました。

その後、中原薬学科長より「大学の近況について」ご報告をいただきました。６年間の教育課程についての説明をしていただき、各学年別での学習に対する取り組みについて詳しく説明をしていただきました。

次に、唐津あさひ薬局代表取締役社長の曲渕直喜先生より保護者に向けご講演いただき、その後、あさひ薬局勤務の本学 OB の太田将仁先生に、「卒業生から在学生へのアドバイス」と題して、学生に向けご講演いただき、「合格への道は計画と継続」とまとめられました。参加した学生はより身近な話として熱心に先生方のご講演を熱心に聞いていました。

後援会としても、例年大学で計画する６年生対象の国試対策夏季合宿勉強会の補助や、学生の成績向上に関する事業への協力など、今後とも学生の教育の一助になればと考えております。

後援会終了後は同会場にて昼食会を行い、よい意見交換の場となりました。

今後とも後援会活動を通じて、学生のサポートを行っていきます。